

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 09-161030

(43)Date of publication of application : 20.06.1997

(51)Int.Cl.

G06K 17/00

G06F 17/60

G06F 19/00

G07D 9/00

G07G 1/12

(21)Application number : 07-318328

(71)Applicant : KOBAYASHI KIROKUSHI KK

(22)Date of filing : 06.12.1995

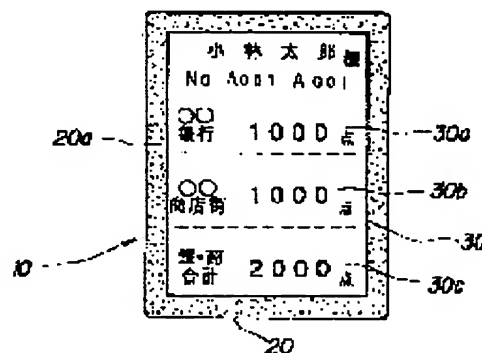
(72)Inventor : KAMIYA HITOSHI
NAITO YUICHI
GOTO AKIO

(54) POINT CARD SYSTEM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To maintain fixed customers and to secure new customers by operating a point card system cooperatively by a banking organ and a shopping district by the use of point cards each of which has an observable display area and a magnetic information recording area.

SOLUTION: A point card 10 has a rewritable and observable display area 30 set up on one face 20a of a card material 20, a 1st display area 20a can be rewritten only by a prescribed banking organ and new points are rewritten by adding prescribed points in every use of the banking organ and displayed. A 2nd display area 30b can be written only by prescribed shopping district and new point to which points corresponding to a purchase amount are added are rewritten and displayed at the time of purchasing a commodity or the like. A 3rd display area 30c can be rewritten by both the banking organ and shopping district and points obtained by mutually adding points displayed on the 1st and 2nd display areas 30a, 30b are rewritten and displayed on the area 30c.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

28.11.2000

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平 9 - 1 6 1 0 3 0

(43) 公開日 平成9年(1997)6月20日

(51) Int. Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 K	17/00		G 0 6 K 17/00	R
G 0 6 F	17/60		G 0 7 D 9/00	4 3 1 Z
	19/00		G 0 7 G 1/12	3 2 1 L
G 0 7 D	9/00	4 3 1	G 0 6 F 15/21	3 4 0 Z
G 0 7 G	1/12	3 2 1		15/30 Z
審査請求 未請求 請求項の数 3			O L	(全 8 頁)

(21) 出願番号 特願平7-318328

(22) 出願日 平成7年(1995)12月6日

(71) 出願人 000186566

小林記録紙株式会社

愛知県刈谷市小垣江町北高根115番地

(72) 発明者 神谷 仁

愛知県刈谷市小垣江町北高根115番地 小林記録紙株式会社内

(72) 発明者 内藤 裕一

愛知県刈谷市小垣江町北高根115番地 小林記録紙株式会社内

(72) 発明者 後藤 章夫

愛知県刈谷市小垣江町北高根115番地 小林記録紙株式会社内

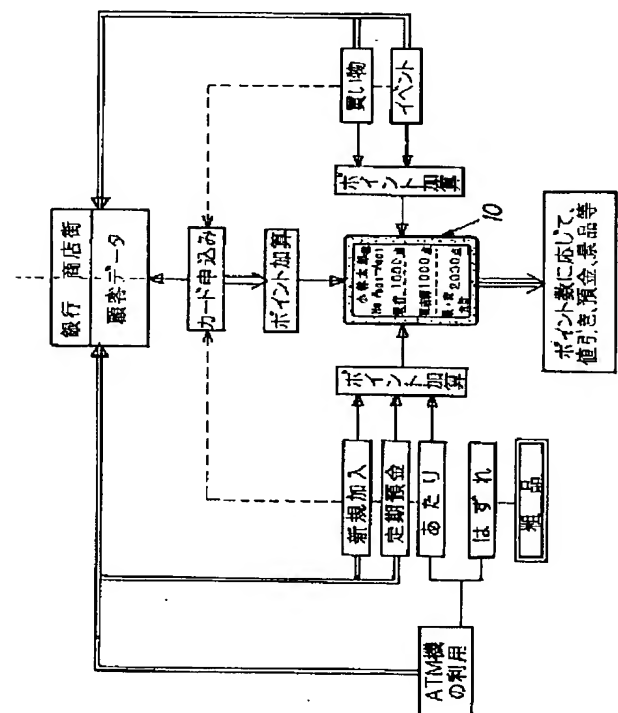
(74) 代理人 弁理士 和田 成則

(54) 【発明の名称】 ポイントカードシステム

(57) 【要約】

【課題】 地域密着型の金融機関と地元商店街の共栄のために顧客の確保維持、新規顧客の拡大を図ることができ、商店側ではOA化の促進ができる等、商店街と金融機関が共同運用できるポイントカードシステムを提供することを課題とする。

【解決手段】 書き替え可能な目視可能表示エリアと、磁気情報記録エリアを有したポイントカードを使用し、顧客が金融機関または商店街を利用した際、利用店舗のカード処理機により、利用ポイントの計算と、利用ポイントの磁気情報記録エリアからの読み取り、書き込みと表示エリアへの利用ポイントの印字および消字を行ない、金融機関と商店街とが共同運用するポイントカードシステム。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 書き替え可能で、かつ目視可能な表示エリアと、磁気情報記録エリアを有したポイントカードを使用して、金融機関と商店街とが共同運用することを特徴とするポイントカードシステム。

【請求項 2】 顧客が金融機関または商店街を利用した際、利用店舗のカード処理機により、利用ポイントの計算と、利用ポイントの磁気情報記録エリアからの読み取り、書き込みと表示エリアへの利用ポイントの印字および消字を行なうことを特徴とする請求項 1 記載のポイントカードシステム。

【請求項 3】 金融機関の A T M 機を利用した際に受け取る利用明細書に印字されたくじの表示内容により所定のポイントが加算されることを特徴とする請求項 1 または請求項 2 記載のポイントカードシステム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、地域密着型の金融機関と地元商店街の双方が顧客の拡大を図る為共同運用するポイントカードシステムに関する。

【0002】

【従来の技術】通常、金融機関側では、各種業務の簡素化を図るために、キャッシュカードやローンカード等の各種情報カードを発行しており、預金者の利用時間の短縮、並びに窓口業務の負担軽減に役立っている。

【0003】一方、商店側は、利用者の購入金額に応じて、サービス券やチップ等を発行するか、あるいはスタンプカードにスタンプを押圧して顧客サービスを行ない、顧客の維持、確保、並びに新規顧客の拡大を図っているのが実情である。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、金融機関が発行するキャッシュカード等では、金融機関間での相互利用はできるものの、キャッシュカードとしての利用価値以外に他の機能は考えられず、また、預金者の窓口離れの要因となっている。

【0005】一方、商店側の従来の顧客サービスでは、自己防衛の色彩が濃く、横の繋がりに欠けるとともに、データの蓄積や管理も面倒で O A 化の大きな障害となっている。

【0006】この発明は、このような事情に鑑みてなされたもので、商店街と金融機関の双方にて共同運用でき、固定客の維持、並びに新規顧客の確保に有効に利用できるポイントカードシステムを提供することにある。

【0007】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために、本発明に係るポイントカードシステムは、書き替え可能で、かつ目視可能な表示エリアと、磁気情報記録エリアを有したポイントカードを使用して、金融機関と商店街とが共同運用することを特徴とする。

【0008】更に、本発明に係るポイントカードシステムは、顧客が金融機関または商店街を利用した際、利用店舗のカード処理機により、利用ポイントの計算と、利用ポイントの磁気情報記録エリアからの読み取り、書き込みと表示エリアへの利用ポイントの印字および消字を行なうことを特徴とする。

【0009】また、本発明に係るポイントカードシステムは、金融機関の A T M 機を利用した際に受け取る利用明細書に印字されたくじの表示内容により所定のポイントが加算されることを特徴とする。

【0010】ここで、ポイントカードの一方面側に設定される書き替え可能で、かつ目視可能な表示エリアは、金融機関側のみが書き替え可能な第 1 表示エリアと、商店側のみが書き替え可能な第 2 表示エリアと、双方が書き替え可能な第 3 表示エリアの 3 つの表示エリアに区画されている。

【0011】また、ポイントカードの他方面側には、金融機関側及び商店街側のそれぞれのポイントを記録する磁気情報記録エリアが磁気ストライプ、全面磁気等により形成されている。

【0012】次いで、このポイントカードの利用方法としては、例えば、顧客が金融機関の A T M 機を利用する場合の他に、金融機関で新規に定期預金を行なう場合や新規に口座を開設あるいは各種ローンの契約等を行なう場合、まずこのカードを金融機関のカード処理機にかけて、金融機関側及び商店街側のそれぞれの磁気情報記録エリアに記録されているそれぞれのポイントを読み込む。

【0013】そして、金融機関側の第 1 磁気情報記録エリアには、金融機関の利用形態に応じて所定のポイントを加算した形で新たなポイントを書き込み記録するとともに、第 1 表示エリアにサーマルヘッドにより新たなポイントを書込表示するとともに、第 3 表示エリアには、金融機関側の新たなポイントと商店街側のポイントとを加算したトータルポイントを書込表示する。

【0014】従って、金融機関側のカード処理機においては、第 1 表示エリア及び第 3 表示エリアにポイントの書き替えを行なうサーマルヘッドと、金融機関側の磁気情報記録エリアのポイントを読み取り、かつ書き替えを行なう磁気ヘッドと、商店街側の磁気情報記録エリアのポイントを読み取る磁気ヘッドと、双方のポイントを加算する加算カウンタとを備えていれば良い。

【0015】同様に商店街側のカード処理機においても、金融機関側の磁気情報記録エリアに記録されたポイントを読み取る磁気ヘッドと、商店街側のポイントを読み取るとともに新たなポイントを書き替える磁気ヘッドと、第 2 表示エリアと第 3 表示エリアの書き替えを行なうサーマルヘッドとを備えており、例えば、商店で商品等を購入した場合、現有のポイントの読み取りを行ない、購入金額に応じて所定ポイントが与えられ、このポ

イントを加算した新たなポイントを磁気情報記録エリアに書き込み記録し、かつ、第2表示エリアにこの新たなポイントを書き替え表示する一方、トータルのポイントを第3表示エリアに書き替え表示する。

【0016】また、このポイントカードの発行は、金融機関の窓口並びに商店街側の双方で行われるが、金融機関の窓口で行なう場合は、ATMの利用明細書に高確率で当り表示が印字されており、この当り表示のあるATM利用明細書を金融機関の窓口で提示すれば、利用者にスクラッチカードが配布され、このスクラッチカードの抽選によりポイントカードが発行される他、定期貯金や新規に口座を開設をする際、窓口で申し込めば、随時ポイントカードが発行される。

【0017】また、商店街側では、必要事項を記入して申し込めば、随時ポイントカードの発行が行われる。

【0018】以上の構成から明かなように、本発明によるポイントカードシステムは、所定の金融機関を利用する毎に所定ポイントが加算されるとともに、所定の商店街を利用した場合にも所定のポイントが加算されるというものであるから、ポイントを貯めれば、現金化され金融機関への預金が可能になるとともに、商店ではポイント分の商品を購入することができる。

【0019】さらに、金融機関側では、他の金融機関のユーザーを取り込める等、集客率を高めることができる。

【0020】一方、商店街側においては、各種顧客情報が把握できるとともに、ポイントの管理取扱事務の軽減が可能となる。

【0021】

【発明の実施の形態】以下、本発明に係るポイントカードシステムの一実施形態について、金融機関側と商店街側とで共用できるポイントカードシステムに適用した実施形態について添付図面を参照しながら詳細に説明する。

【0022】図1は、ポイントカードを一方面側から見た平面図、図2は同ポイントカードを他方面側から見た平面図、図3は金融機関側でポイントカードを発行するまでの流れを示すチャート図、図4は商店街側でポイントカードを発行するまでの流れを示すチャート図、図5は金融機関側に設置されたカード機によるカード処理方法を示す説明図、図6は商店街側に設置されたカード機によるカード処理方法を示す説明図、図7は金融機関側、商店街側でのポイントカードの利用形態を示すチャート図、図8はポイントカード発行後のポイントの動きを示す説明図である。

【0023】図1、図2は本発明に係るポイントカードシステムに使用するポイントカードの一実施形態を示すもので、ポイントカード10は、ポリエステル樹脂、硬質塩化ビニル樹脂等のカード基材20の一方面20a側に書き替え可能で、かつ目視可能な表示エリア30（第

1表示エリア30a、第2表示エリア30b、第3表示エリア30c）が設定されており、第1表示エリア30aは、所定の金融機関のみが書き替えることができ、金融機関を利用する毎に所定ポイントが加算された新たなポイントが書き替え表示される。

【0024】また、第2表示エリア30bは、所定の商店街のみが書替可能であり、所定の商店街を利用する際、例えば商品を購入する場合等、その購入金額に応じたポイントが加算された新たなポイントが書き替え表示される。

【0025】更に、第3表示エリア30cは、金融機関と商店街の双方が書替可能であり、第1表示エリア30aと第2表示エリア30bに表示されているポイントを加算したトータルポイントが書き替え表示される。

【0026】また、図2に示すように、カード基材20の他方面側20bには、金融機関側のポイント、すなわち、第1表示エリア30aのポイントを記録する磁気ストライプ、全面磁気等の第1磁気情報記録エリア40aが形成されており、同様に商店街側のポイント、すなわち、第2表示エリア30bのポイントを記録する第2磁気情報記録エリア40bが同様に磁気ストライプ等として形成されている。

【0027】尚、この表示エリア30は、熱可逆性感熱記録フィルムを使用して、サーマルヘッドにより印字、熱板等により消字を行なうようにした通常の表示手段が使用され、また、金融機関側、商店街側では、ポイントカード10に対して後述する情報処理操作を行なっている。

【0028】まず最初に、図3に基づいて、金融機関側がATM利用者にポイントカード10を発行する手順について、そのシステムの流れを説明する。

【0029】まず、ATM機で利用者が現金の預金及び引き出しを行なった際、ATM利用明細書50が発行されるが、その際、このATM利用明細書50には、当り表示51が印字されているものがある。

【0030】上記当り表示51は、ATM利用明細書50に高確率で表示されているが、他の金融機関のカードを使用した場合、当選確率をより一層高確率に設定したほうが新規顧客確保に有効である。

【0031】利用者は、当り表示51が印字されたATM利用明細書50を窓口へ提出すれば、当選者にスクラッチカード60が配布されるが、このスクラッチカード60にもまた、当りとはずれがある。

【0032】そして、この抽選に外れた場合は粗品が利用者に進呈され、この抽選に当たった場合には本発明に係るポイントカード10が発行され、このポイントカード10の第1表示エリア30aには所定のポイントが予め加算されたポイントが表示され、かつ第1磁気情報記録エリア40aには当該ポイントが記録されている。

【0033】尚、定期貯金や新規口座の開設等、金融機

関を利用する際、窓口で申し込めば、利用の形態に応じて、所定ポイント加算した状態でポイントカードが金融機関側から発行される。

【0034】また、金融機関側だけでなく、商店街側からも同様にポイントカード10の発行が行われる。

【0035】すなわち、図4に示すように、顧客がカード申込書に住所、氏名等の所定情報を記入して申し込めば、本発明に係るポイントカード10の発行が行われるが、このとき、第2磁気情報記録エリア40bにはポイントが記録されず、零ポイントであり、また、各表示エ

リア30a、30b、30cも同様に零ポイントである。

【0036】次に、ポイントカード10の利用方法について説明する。

【0037】まず、金融機関側でのカード処理方法について、図5を基に説明すると、金融機関側のカード処理機70には、ポイントカード10の一方面側に設定された表示エリア30に目視情報の書き替えを行なうサーマルヘッド71が設けられているとともに、ポイントカード10の他方面側に設けられた2つの磁気情報記録エ

リア40a、40bに記録された磁気情報を読み取り、あるいは読み取り、書き込むための磁気ヘッド72、73および加算用カウンタ（図示せず）が設けられている。

【0038】ここで、顧客が金融機関で定期預金や新規な口座を開設した場合など、このポイントカード10を金融機関の窓口で提示すれば、このポイントカード10をカード処理機70に挿入し、金融機関側の情報を読み取り、かつ書き替え可能な磁気ヘッド72により磁気情報記録エリア40aに記録された金融機関側のポイントが読み取られ、それに金融機関を利用する形態によって所定ポイントが加えられた新たなポイントがこの磁気ヘッド72により第1磁気情報記録エリア40aに書き込まれる。

【0039】尚、他方側の磁気ヘッド73は商店街側のポイントが記録された第2磁気情報記録エリア40bの所定情報を読み取るだけで、書き替える機能は備えていない。

【0040】そして、第1磁気情報記録エリア40aに新たに記録されたポイントはサーマルヘッド71によりポイントカード10の第1表示エリア30aに新たなポイントとして目視可能に書き替え表示されるとともに、金融機関側及び商店街側のそれぞれの情報を記録している磁気情報記録エリア40a、40bの各ポイントを加算用カウンタにより加算したトータルポイントが第3表示エリア30cにこれも目視可能に書き替え表示されることになる。

【0041】すなわち、この処理の順序は、

①. 磁気情報記録エリア40a、40bの磁気情報の各ポイントの読み取り

②. 金融機関側のポイント数に今回の利用ポイントの加

算

③. 金融機関側の第1磁気記録層40aのポイントの書き替え

④. 金融機関及び商店街側の合計ポイント計算

⑤. 表示エリア30における目視情報の書き替えの順序で行われる。

【0042】同様に、商店街側でのポイントカード10のカード処理方法について、図6を基に説明すると、商店街側にもカード処理機80が設置されており、カード処理機80には、サーマルヘッド81、2つの磁気ヘッド82、83、加算用カウンタ（図示せず）が設置されており、一方側の磁気ヘッド82は、金融機関側のポイントを読み取るだけの読み取りヘッドであり、他方側の磁気ヘッド83は商店街側のポイントを読み取るとともに、新たなポイントを書き込むことが可能な読取、書き込み機能を備えた磁気ヘッドである。

【0043】従って、商店街側でのポイントカード10を使用したポイント加算の流れを順を追って説明すると、以下のようになる。

【0044】①. 商店街側、金融機関側双方の磁気情報のポイント読み取り

②. 商店街のポイントに今回の利用ポイントを加算

③. 商店街側の所定情報を記録した第2磁気情報記録エリア40bのポイント書き替え

④. 商店街側及び金融機関側の合計ポイント計算

⑤. 表示エリア30の目視情報の書き替え

【0045】次いで、本発明に係るポイントカード10の使用形態についてシステムの流れを図7を基に説明するが、図3、図4と重複する部分については詳細な説明は省略する。

【0046】まず、図7から明らかなように、金融機関への新規口座の開設や、定期貯金を行なった場合の他に、金融機関におけるATM利用明細書50に当り表示51が印字されていれば、スクラッチカード60が利用者に発行され、このスクラッチカード60の当りによりポイントカード10が所定ポイント加算された状態で発行されるが、その後、利用者はそれ以後のATM利用明細書50の当り表示51によりポイントカード10に所定ポイントを加算するための照会を窓口で行なうことになる。

【0047】従って、顧客の維持、確保を確実なものとし、また、他の金融機関のキャッシュカードを使用したATM操作については当り表示を高確率に設定した場合、新規顧客の拡大を図ることができる。

【0048】また、商店側では、利用者は商品を購入した際、このポイントカード10に所定ポイントが加算されて記録されるとともに、目視可能に表示され、商店側の情報の流れとしては、カード申し込みの際提出した申込書により顧客の所定情報が把握できるとともに、商店を利用して商品を購入した際のポイントの加算情况等か

ら得られる各種情報をデータファイルに蓄積でき、これら情報を販売促進データとして有効に活用することができ、種々のＯＡ化が可能となる。

【００４９】次に、図８に基づいて、ポイントカード１０発行後のポイントの動きについて説明すると、まず、金融機関側ではＡＴＭ使用時に発行されるＡＴＭ利用明細書５０に当り表示５１が印字されていれば、所定ポイントが加算された形でポイントが第１磁気情報記録エリア４０ａに記録され、かつ、ポイントカード１０の第１表示エリア３０ａ、第３表示エリア３０ｃに書き込み表示される。

【００５０】同様に、新規で定期預金をした場合、その定期預金の金額により決められたポイントが加算されるが、例えば１００万円の定期積み立てでは１０００ポイント、新規の口座開設では１００ポイント等のように、金融機関の利用形態により所定ポイントが加算されて、ポイントカード１０の第１磁気情報記録エリア４０ａに記録され、かつ、表示エリア３０にポイントが書き替え表示されることになる。

【００５１】尚、他の金融機関の利用形態として、新規で給与振り込みを契約した場合や、住宅ローンを契約した場合なども同様に行なう。

【００５２】次いで、商店街側のポイントの動きについては、商品を購入した場合だけでなく、商店街を通った場合や買い物に持参した場合など、所定ポイントが加算されて、ポイントカード１０の第２磁気情報記録エリア４０ｂに記録され、かつ、第２表示エリア３０ｂ及び第３表示エリア３０ｃにポイントが表示されることになる。

【００５３】そして、第３表示エリア３０ｃには第１表示エリア３０ａのポイントと第２表示エリア３０ｂのポイントを総和したトータルポイントが表示され、この第３表示エリア３０ｃのトータルポイントにより商店街等では福引き等の各種イベントや景品の進呈あるいは通常の商品購入に利用できるとともに、金融機関での預金を行なうこともできる。

【００５４】

【発明の効果】以上説明した通り、本発明によるポイントカードシステムは、以下に記載する格別の作用効果を有する。

【００５５】（１）本発明によるポイントカードシステムは、所定金融機関を利用する毎に所定ポイントが加算されて記録、表示されるとともに、所定の商店あるいは商店街を利用する毎に所定ポイントが加算されて記録、表示されるというものであるから、所定金融機関の利用頻度が高まり、固定客を有効に確保できるとともに、他の金融機関のユーザーも取り込める等、金融機関側においては顧客の維持、確保、新規顧客の拡大に結び付けることができるという効果を有する。

【００５６】（２）本発明によるポイントカードシステム

ムは、所定の金融機関を利用する毎に所定ポイントが加算されて記録、表示されるとともに、所定の商店あるいは商店街の利用毎に所定ポイントが加算されて記録、表示されるというものであるから、金融機関側は、未取り引きの商店の口座が開設できる等の効果を有する。

【００５７】（３）本発明によるポイントカードシステムは、所定の金融機関を利用する毎に所定ポイントが加算されて記録、表示されるとともに、所定の商店あるいは商店街を利用する毎に所定ポイントが加算されて記録、表示されるというものであるから、商店側においては顧客の各種データを有効に蓄積管理でき、ＯＡ化を促進することができるという効果を有する。

【００５８】（４）本発明によるポイントカードシステムは、所定の金融機関を利用する毎に所定ポイントが加算されて記録、表示されるとともに、所定の商店あるいは商店街を利用する毎に所定ポイントが加算されて記録、表示されるというものであるから、商店側においては、決算手段の多様化による顧客サービスの向上を図ることができるとともに、購買顧客情報の整理や現金取扱事務の軽減が可能になる等の種々の効果を有する。

【００５９】（５）本発明によるポイントカードシステムは、所定の金融機関を利用する毎に所定ポイントが加算されて記録、表示されるとともに、所定の商店あるいは商店街を利用する毎に所定のポイントが加算されて記録、表示されるというものであるから、利用者は、ポイントを貯めることにより、金融機関に預金ができるとともに、商店でポイント分の商品を購入することができる。

【図面の簡単な説明】

【図１】本発明に係るポイントカードシステムに使用するポイントカードの一実施形態を示す一側面側から見た平面図。

【図２】図１に示すポイントカードを他側面側から見た平面図。

【図３】本発明に使用するポイントカードを金融機関が発行するシステムを示すチャート図。

【図４】本発明に使用するポイントカードを商店街側が発行するシステムを示すチャート図。

【図５】金融機関側のカード処理方法を示す説明図。

【図６】商店街側のカード処理方法を示す説明図。

【図７】本発明に係るポイントカードを金融機関、商店街で共用するシステムを示すチャート図。

【図８】本発明に係るポイントカードシステムにおいて、ポイントカード発行後のポイントの動きを示す説明図。

【符号の説明】

１０ ポイントカード

２０ カード基材

３０ 表示エリア

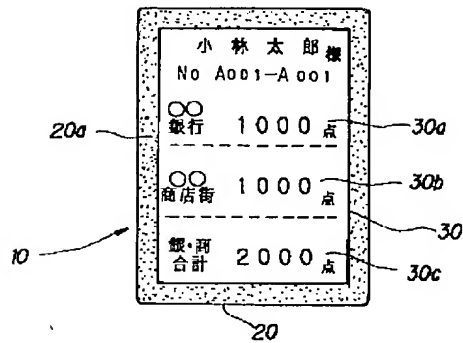
３０ａ 第１表示エリア

３０ｂ 第２表示エリア

30c 第3表示エリア
40a, 40b 磁気情報記録エリア
50 ATM利用明細書
51 当り表示

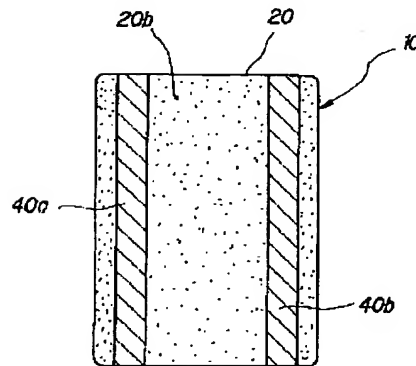
60 スクラッチカード
70, 80 カード処理機
71, 81 サーマルヘッド
72, 73, 82, 83 磁気ヘッド

【図1】

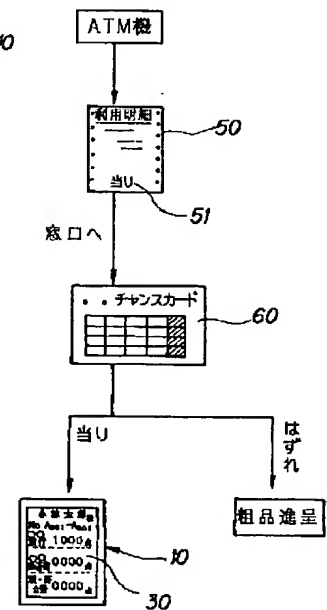


10 ポイントカード
20 カード基材
30 表示エリア
30a 第1表示エリア
30b 第2表示エリア
30c 第3表示エリア
40a, 40b 磁気情報記録エリア
50 ATM利用明細書
51 当り表示
60 スクラッチカード
70, 80 カード処理機
71, 81 サーマルヘッド
72, 73, 82, 83 磁気ヘッド

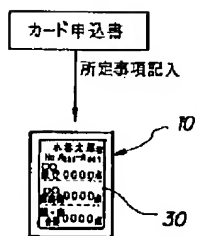
【図2】



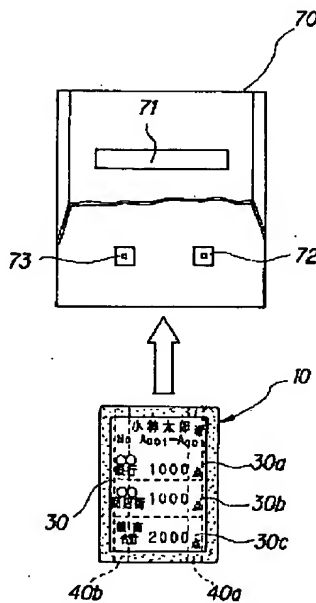
【図3】



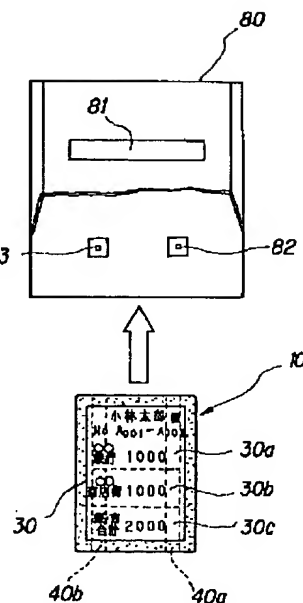
【図4】



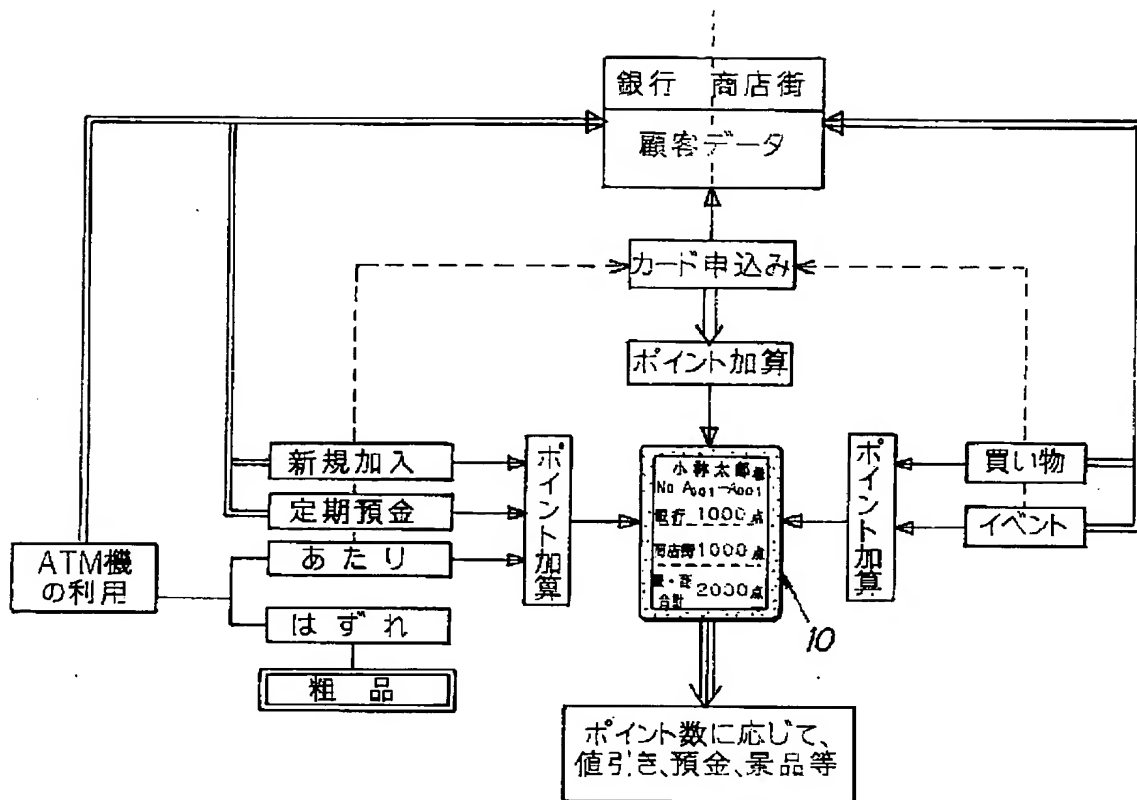
【図5】



【図6】



【図7】



【図8】

